

2026年8月26日
株式会社イオン銀行

イオン銀行、金融庁「FinTech実証実験ハブ」支援案件である 「トークン化預金の銀行間決済」実証実験への参加について

株式会社イオン銀行（東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員：木坂 有朗、以下、当社）は、2026年4月3日に採択された、金融庁「FinTech実証実験ハブ」の支援案件「トークン化預金の銀行間決済」（以下、本実証）に参加銀行として参画し、検証を開始しましたので、お知らせいたします。

キャッシュレス決済やデジタル取引の拡大を背景に、ブロックチェーン技術を活用した新たなデジタル決済の取組みは、国内外で急速に進展しています。一方で、複数の銀行間で利用者間の送金を行う場合、その裏側で発生する銀行間の資金決済をどのように行うかが重要な課題となっています。

また、デジタル技術の進展、決済手段の多様化が進む中、新たな金融サービスや決済インフラへの対応は、当社にとって重要な経営課題の一つとなっています。

このような背景を踏まえ、当社は本実証に参加し、新たなデジタル決済技術を活用した銀行間決済の実現可能性や課題について検証を行います。

※本実証の詳細については、株式会社DCPのプレスリリースをご参照ください。

<https://www.dcp.jp/pressrelease/pr-20260826.html>

今後、本実証を通じて得られる知見を活かし、お客さまにより安全・安心、便利にご利用いただける金融サービスの提供を行います。併せて、決済とグループサービスの連携を通じて、これまで以上に魅力ある顧客体験の実現を目指してまいります。

以上

【参考】金融庁「FinTech実証実験ハブの設置について」

<https://www.fsa.go.jp/news/29/sonota/20170921/20170921.html>